

第 58 期

事業報告書

(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

株主メモ

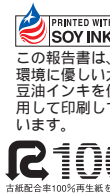
決算期	3月31日
定時株主総会	6月
配当金	利益配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
基準日	3月31日
名義書換代理人	その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	郵便物送付 / 電話照会 連絡先 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5391-1900(代表)
同取次所 単元未満株式の買取 請求及び買増請求	三菱信託銀行株式会社 全国各支店 単元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記名義書換代理人事務取扱場所及び同取次所にて受付けております。 ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出下さい。 また、買増請求は、9月30日及び3月31日のそれぞれ12営業日前から当該日までの期間はお取り扱いができませんので、ご留意下さい。
公告掲載新聞	日本経済新聞 当期より日本経済新聞に掲載する決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書の開示は当社ホームページに掲載しております。 URL http://www.kissei.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求に必要な各用紙、株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用下さい。

明日の健康を見つめる

 **キッセイ薬品工業株式会社**



シャスターデージー咲く草原と八ヶ岳

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目次

株主の皆様へ	P 2
業績ハイライト(連結・単体)	P 3~4
営業の概況(連結)	P 5
トピックス	P 6
連結財務諸表	P 7~8
単体財務諸表	P 9~10
製品の紹介	P 11
研究開発の状況	P 12
株式の状況	P 13
会社の概要	P 14



橘の花

「キッセイ」の由来

「キッセイ」は1946年創立。当時は、初代社長・雨森正五郎の家紋である橘を冠した橘生化学研究所としてスタートしました。翌年橘生薬品工業株式会社と改称され、1964年に現社名の「キッセイ薬品工業株式会社」となりました。

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととおよこび申し上げます。

ここに当社第58期(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)の営業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

医薬品業界は国民医療費の抑制を目的とする「医療制度改革」の最中にあり、昨年4月の薬価基準の引き下げ、10月の高齢者自己負担の増加に続き、本年4月からは自己負担の引き上げが実施され、メーカーにとって厳しい環境が続いております。

当社は創業以来「研究開発なくして製薬メーカーにあらず」という精神のもと、新薬開発を優先した経営戦略を展開してまいりました。1995年に21世紀における製薬環境への適応を目的とするプロジェクトを立ち上げ、「創薬研究開発型企業への新たな経営体制の確立と成長」のための、自己改革、業務・プロセス改革、事業構造改革、採算構造改革に取り組みました。本年4月からは、新たな中期経営計画「EVOLUTION PLAN」をスタートさせ、企業改革の継続による「創薬研究開発型企業」としての確固たる地位の構築を推進いたします。

ここ数年の業績は、研究開発への先行投資により厳しい内容でありましたが、研究開発への先行投資は徐々に開花しつつあります。糖尿病治療剤「ミチグリニド」は昨年12月、厚生労働省に承認申請いたしました。本薬剤は効率的な医薬情報活動の実施と、より多くの患者さんへの提供を目的に武田薬品工業株式会社と共同販売を行います。頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症改善剤「ピロカルピン」も本年5月予定通り、厚生労働省に承認申請いたしました。また本薬剤はシェーグレン症候群の患者さんへの効能拡大の治験を推進中であります。また、排尿障害治療剤「シロドシン」の第Ⅲ相臨床試験も順調に進んでおります。

海外展開にあたってはライセンスアウトによる戦略をとっております。既に「ミチグリニド」、血糖降下剤「KGT」、頻尿・尿失禁治療剤「KUC」等の新規メカニズムを有する独創的なテーマを国際企業に導出してまいります。当社の創薬開発力が評価された結果であり、今後も有力テーマの早期導出を図り、海外収益基盤を構築してまいります。

医薬品市場がグローバル化し、企業間競争が熾烈化する中で、創薬の研究開発を通じ、「収益構造の変革と成長フェーズへの転換」に挑戦してまいります。

株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

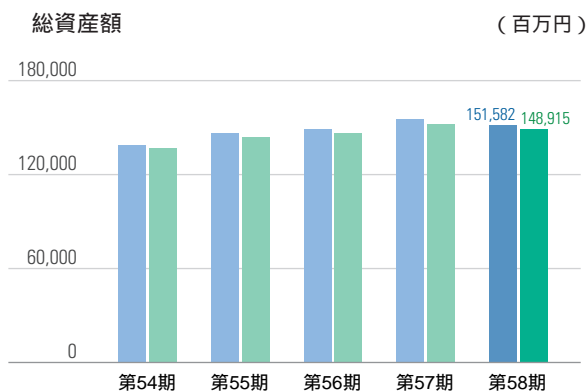
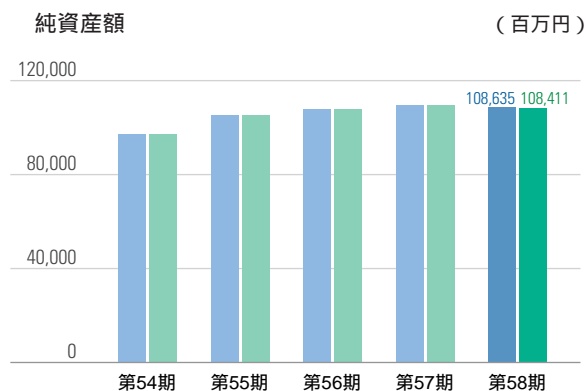
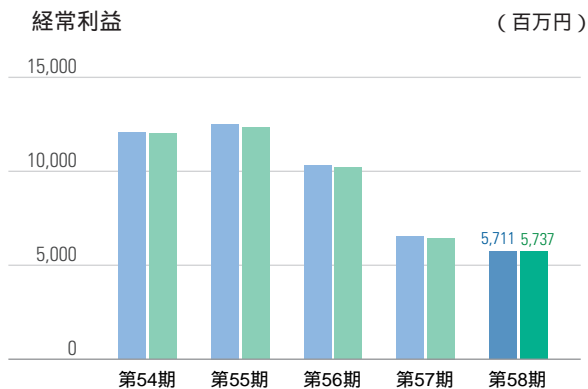
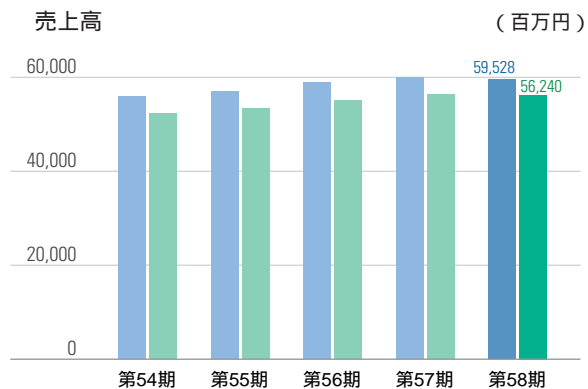


代表取締役社長

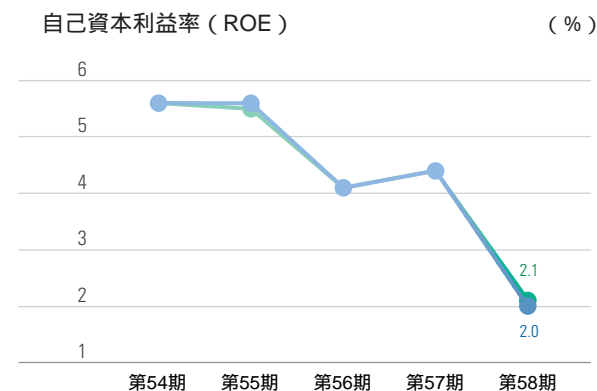
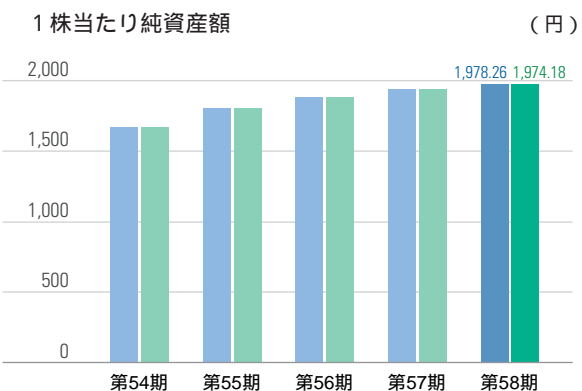
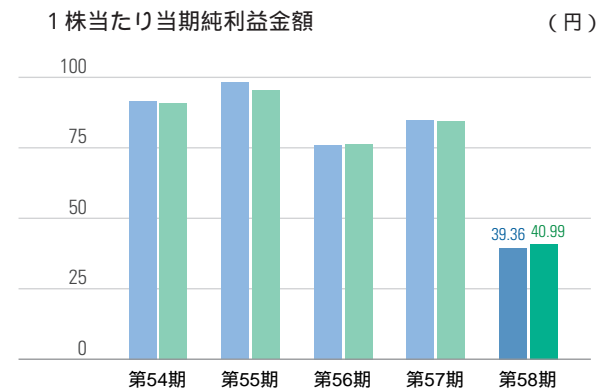
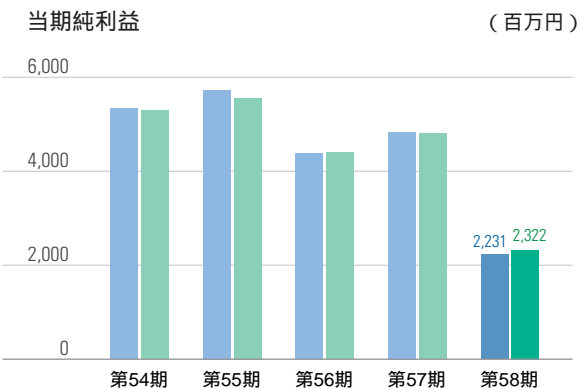
神津陸雄

業績ハイライト(連結・単体)

■ 連結 ■ 単体



業績ハイライト(連結・単体)



連結		第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
売上高	(百万円)	55,974	57,029	58,936	59,929	59,528
経常利益	(百万円)	12,085	12,528	10,300	6,534	5,711
当期純利益	(百万円)	5,334	5,724	4,382	4,836	2,231
純資産額	(百万円)	97,233	105,436	108,017	109,831	108,635
総資産額	(百万円)	138,934	146,648	149,188	155,740	151,582
1株当たり純資産額	(円)	1,668.57	1,809.45	1,885.39	1,942.47	1,978.26
1株当たり当期純利益金額	(円)	91.54	98.23	75.96	84.85	39.36
自己資本比率	(%)	70.0	71.9	72.4	70.5	71.7
自己資本利益率	(%)	5.6	5.6	4.1	4.4	2.0

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額は、期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数を用いて、また、当期より役員賞与金を控除して算出しております。
2. 1株当たり純資産額は、期末発行済株式総数から期末自己株式数を控除した株式数を用いて、また、当期より役員賞与金を控除して算出しております。

単体		第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
売上高	(百万円)	52,335	53,409	55,016	56,315	56,240
経常利益	(百万円)	12,012	12,324	10,184	6,454	5,737
当期純利益	(百万円)	5,294	5,557	4,408	4,803	2,322
純資産額	(百万円)	97,229	105,146	107,743	109,516	108,411
総資産額	(百万円)	136,663	144,280	146,611	152,524	148,915
1株当たり純資産額	(円)	1,668.33	1,804.18	1,880.51	1,936.90	1,974.18
1株当たり当期純利益金額	(円)	90.85	95.36	76.94	84.26	40.99
自己資本比率	(%)	71.2	72.9	73.5	71.8	72.8
自己資本利益率	(%)	5.6	5.5	4.1	4.4	2.1
資本金	(百万円)	24,219	24,219	24,219	24,219	24,219
発行済株式総数	(株)	58,279,185	58,279,185	57,295,185	56,795,185	56,795,185
1株当たり配当金	(円)	15	14	14	14	14

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額は、第57期より期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数を用いて、また、当期より役員賞与金を控除して算出しております。
2. 1株当たり純資産額は、第57期より期末発行済株式総数から期末自己株式数を控除した株式数を用いて、また、当期より役員賞与金を控除して算出しております。

営業の概況（連結）

当期の概要

当期におけるわが国経済は、企業業績の回復傾向が見られましたが、前年の業績の大幅な下落の反動やリストラ効果によるところが大きく、個人消費の本格的な回復には至っておりません。また、期末にはイラク問題も発生し、一層先行き不透明な状況となりました。

医薬品業界におきましては、昨年4月に実施されました薬価基準の引き下げによる影響を受けたことに続き、医療制度の抜本改革、本格化するグローバル競争やバイオテクノロジー等の技術革新への対応に迫られ、変革期の中で推移いたしました。

また、情報サービス業界、物品販売業界もデフレ経済が影響し、厳しい状況下でありました。

このような情勢の中で、医薬品事業におきましては、パーキンソン病治療剤「カバサル錠」等の主力製品や産婦人科領域等での製品の育成を図るとともに、積極的な医薬情報活動を推進いたしました。

研究開発面では、糖尿病治療剤ミチグリニド（KAD - 1229）、頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症改善剤ピロカルピン（KSS - 694）、前立腺肥大に伴う排尿障害治療剤シロドシン（KMD - 3213）等を中心にスピードアップを図り、ミチグリニドは昨年12月に厚生労働省に承認の申請をいたしました。また、国際展開も積極的に推進しており、新規作用機序の糖尿病治療剤「KGT」を昨年10月グラクソ・スミスクライン社に、頻尿・尿失禁治療剤「KUC - 7483」を昨年11月ペーリンガーインゲルハイム社に、ミチグリニドを3月に韓国のチョンウェ社にライセンスアウトいたしました。

その他の事業におきましては、質的向上を課題に高効率経営に積極的に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の売上高は595億2千8百万円、経常利益は57億1千1百万円、当期純利益は22億3千1百万円の業績となりました。

当期純利益が大幅に減益となりましたのは、前期に「プリンストン債」の訴訟和解金を特別利益に計上したことによりです。

なお、期中に資本効率の向上と発行済株式数の減少を通じて株主価値の増大を図ることを目的に自己株式の買受けを実施いたしました。取得した株式の総数は156万5千株、取得価格の総額は24億4千万円であります。

来期の見通し

昨年4月に実施されました薬価基準の引き下げによる影響や後発品使用促進策による影響に加え、特定機能病院等における入院治療の包括評価が実施されるなど、引き続き厳しい経営環境が予想されます。

その他の事業につきましても、明らかな景気回復が見込めず、厳しい状況が続くと思われれます。

このような情勢の中で当社グループは、グループとしての相乗効果が発揮できる経営体制の確立を目指し、新中期経営計画に基づき、成長戦略に取り組んでまいります。

次期の業績につきましては、売上高600億円、経常利益63億円、当期純利益36億5千万円を目標に業績の確保に努力いたします。

対処すべき課題

医療制度改革の一環として、昨年度からの後発品使用促進策に引き続き、本年4月より特定機能病院等における入院治療の包括評価が実施されるなど、新薬を継続的に発売できないメーカーには一層厳しい経営環境が予想されます。また、被用者保険本人の医療費給付率の7割統一など自己負担の引き上げも実施されることとなりました。

このような状況下において、売上面においては既存製品の一層の市場育成、特に第55期（平成11年度）より継続して上市してきましたパーキンソン病治療剤「カバサル錠」を始めとする新製品群の拡大、欧米を中心とするライセンスアウトの推進、ヘルスケア事業の強化を課題といたします。

研究開発面では、昨年12月に糖尿病治療剤ミチグリニド（KAD - 1229）の新薬承認申請を実施したことに続き、当期におきまして頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症改善剤ピロカルピン（KSS - 694）の新薬承認申請を計画しております。両剤のフォローを強化し市場への早期導入を図るとともに、前立腺肥大に伴う排尿障害治療剤シロドシン（KMD - 3213）等の開発のスピードアップを図り、また将来に向けたパイプラインの充実を図ることが課題であります。創薬研究開発型企業としての成長と発展のためには、研究開発面に積極的に経営資源を投入する必要があり、徹底的な業務並びに経費の効率化による筋肉質の経営体制の確立も課題であります。

トピックス

糖尿病

糖尿病は、すい臓の細胞から分泌されるインスリンというホルモンの欠乏や作用不足により、糖質（ブドウ糖）がエネルギー源として活用されずに血液中に滞り、慢性的に高血糖の状態が続いている病気です。初期のうちには自覚症状がないことが多く、放置すると網膜症・腎症・神経障害などの合併症を引き起こし、末期には失明したり人工透析治療が必要になったり、しびれなどの知覚障害が出現することがあります。平成9年に行われた厚生省（現 厚生労働省）の「糖尿病実態調査」によると、国内において糖尿病が強く疑われる人は約690万人、可能性を否定できない人を含めると約1,370万人に上ると推計されています。毎年40～65歳の国民1,000人中6～8人の割合で2型糖尿病が新たに発症しており、今後も糖尿病患者さんの増加することが予測されます。

糖尿病はその成因から1型糖尿病と2型糖尿病に大きく分類されますが、日本における糖尿病の大部分（90～95%）は2型糖尿病です。早期の2型糖尿病の患者さんでは食後の血糖値の上昇にもかかわらず速やかなインスリンの分泌の亢進が認められず、食後過血糖の状態が持続してしまいます。さらに進行すると空腹時であっても高血糖を示すようになり、最終的には合併症発症に至り

ます。このことから合併症発症を防ぐためには早期の段階である食後過血糖の時期から治療することが重要です。また、近年、様々な調査から食後過血糖は最終的に糖尿病合併症の発症に繋がるだけでなく、心筋梗塞などの心血管系合併症の独立した危険因子であることが示され、食後過血糖の改善が医学的に重要であることが明らかにされました。

糖尿病とミチグリニド

当社では、昨年12月に「ミチグリニド」の承認申請を厚生労働省に行いました。「ミチグリニド」は当社が創製・開発した速効性・短時間作用型のインスリン分泌促進剤で、2型糖尿病の治療における食後血糖推移の改善を適応症に申請しました。従来のインスリン分泌促進剤（SU剤）に比べ服用後速やかに効果を発現することから糖尿病患者さんで欠如した食後の速やかなインスリン分泌を補うことで食後過血糖を抑制し、血糖を良好にコントロールするユニークな血糖降下剤です。また、作用持続時間が短いため、従来のSU剤に比べ低血糖を惹起しにくく、インスリンを分泌するすい臓の細胞の疲弊軽減が期待されることなどから、糖尿病患者さんのQOL（生活の質）の向上に貢献できるものと思われれます。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別		科目	期別	
	前期 (平成14年3月31日現在)	当期 (平成15年3月31日現在)		前期 (平成14年3月31日現在)	当期 (平成15年3月31日現在)
(資産の部)					
流動資産	90,977	89,502	流動負債	18,637	15,777
現金及び預金	30,671	36,864	支払手形・買掛金	7,574	7,493
受取手形・売掛金	27,691	24,037	短期借入金	1,831	2,110
有価証券	13,602	11,582	未払法人税等	3,621	210
たな卸資産	7,198	8,377	賞与引当金	1,807	2,035
繰延税金資産	2,786	1,959	返品調整引当金	18	22
その他	9,099	6,708	売上割戻引当金	547	518
貸倒引当金	71	27	販売費引当金	171	177
			その他	3,064	3,208
固定資産	64,763	62,079	固定負債	27,154	27,077
有形固定資産	28,844	28,223	転換社債	22,033	21,777
建物・構築物	13,716	12,901	長期借入金	334	255
土地	12,959	12,918	役員退職慰労引当金	1,272	1,221
建設仮勘定	49	379	退職給付引当金	3,514	3,823
その他	2,118	2,024	負債合計	45,792	42,855
無形固定資産	2,913	2,691	(少数株主持分)		
投資その他の資産	33,005	31,165	少数株主持分	115	91
投資有価証券	25,728	22,465	(資本の部)		
長期前払費用	1,959	1,734	資本金	24,219	
繰延税金資産	3,776	3,798	資本準備金	24,110	
その他	1,587	3,272	連結剰余金	61,596	
貸倒引当金	45	105	その他有価証券評価差額金	345	
			自己株式	440	
資産合計	155,740	151,582	資本合計	109,831	
			(資本の部)		
			資本金	24,219	
			資本剰余金	24,110	
			利益剰余金	63,004	
			その他有価証券評価差額金	301	
			自己株式	3,000	
			資本合計	108,635	
			負債・少数株主持分・資本合計	155,740	151,582

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	
	前期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)	当期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
売上高	59,929	59,528
売上原価	19,395	19,892
売上総利益	40,534	39,636
販売費及び一般管理費	33,576	33,563
営業利益	6,957	6,072
営業外収益	504	477
営業外費用	928	837
経常利益	6,534	5,711
特別利益	3,382	413
特別損失	1,198	1,622
税金等調整前当期純利益	8,718	4,502
法人税、住民税及び事業税	5,336	1,448
法人税等調整額	1,461	847
少数株主損益	7	24
当期純利益	4,836	2,231

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	期別	
	前期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)	当期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
I. 連結剰余金期首残高	58,488	
II. 連結剰余金減少高	1,728	
配当金	798	
役員賞与	47	
利益による自己株式消却額	881	
III. 当期純利益	4,836	
IV. 連結剰余金期末残高	61,596	
(資本剰余金の部)		
I. 資本剰余金期首残高		24,110
II. 資本剰余金期末残高		24,110
(利益剰余金の部)		
I. 利益剰余金期首残高		61,596
II. 利益剰余金増加高		2,231
当期純利益		2,231
III. 利益剰余金減少高		823
配当金		786
役員賞与		36
IV. 利益剰余金期末残高		63,004

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	
	前期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)	当期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,718	4,502
減価償却費	3,106	3,083
引当金の増減額	347	482
受取利息及び受取配当金	351	369
支払利息	205	203
有価証券売却損益	210	336
有価証券評価損益	362	266
投資有価証券評価損	1,120	1,508
固定資産処分損	59	108
売上債権の増減額	97	3,653
たな卸資産の増減額	925	1,179
その他流動資産の増減額	442	467
仕入債務の増減額	1,512	80
その他流動負債の増減額	243	144
役員賞与の支払額	47	36
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	50	76
小計	13,780	12,495
利息及び配当金の受取額	300	327
利息の支払額	205	203
法人税等の支払額	2,134	4,778
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,740	7,841
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	115	76
定期預金の払戻による収入	124	115
特定金銭信託の払戻による収入	209	1,270
有価証券の取得による支出	1,197	
有価証券の売却による収入	1,032	755
有形固定資産の取得による支出	1,216	1,291
有形固定資産の売却による収入	8	37
無形固定資産の取得による支出	2,211	360
投資有価証券の取得による支出	12,334	6,992
投資有価証券の売却による収入	2,545	7,741
貸付による支出		1,332
長期前払費用にかかる支出	10	518
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	17	421
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,182	1,072
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入	200	380
短期借入金の返済による支出	175	100
長期借入金の返済による支出	129	79
社債の消却による支出		256
親会社による配当金の支払額	798	786
自己株式の取得による支出	1,395	2,559
自己株式の売却による収入	80	
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,218	3,402
IV. 現金及び現金同等物の増減額	3,659	3,366
V. 現金及び現金同等物の期首残高	47,079	43,420
VI. 現金及び現金同等物の期末残高	43,420	46,786

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

科目	期別		科目	期別	
	前期 (平成14年3月31日現在)	当期 (平成15年3月31日現在)		前期 (平成14年3月31日現在)	当期 (平成15年3月31日現在)
（資産の部）					
流動資産	89,275	88,170	流動負債	16,371	13,903
現金及び預金	30,066	36,504	支払手形	819	1,077
受取手形	556	432	買掛金	5,267	5,437
売掛金	26,109	22,851	短期借入金	1,150	1,150
有価証券	17,966	14,018	1年内返済予定長期借入金	5	5
商品・製品	4,020	5,124	未払金	3,000	2,372
半製品・仕掛品	1,694	1,832	未払法人税等	3,560	206
原材料・貯蔵品	1,414	1,376	賞与引当金	1,621	1,884
繰延税金資産	2,707	1,885	返品調整引当金	18	22
その他の貸倒引当金	4,808	4,165	売上割戻引当金	547	518
	70	20	販売費引当金	171	177
			その他	207	1,051
固定資産	63,249	60,745	固定負債	26,636	26,599
有形固定資産	27,809	27,173	転換社債	22,033	21,777
建物・構築物	13,714	12,900	長期借入金	82	59
機械・装置	582	470	役員退職慰労引当金	1,223	1,176
車両・運搬具	23	15	退職給付引当金	3,296	3,587
工具・器具・備品	1,013	1,022	負債合計	43,007	40,503
土地	12,426	12,385	（資本の部）		
建設仮勘定	49	379	資本金	24,219	
無形固定資産	2,784	2,724	法定準備金	25,051	
ソフトウェア	1,597	1,657	その他の剰余金	60,340	
その他	1,186	1,066	その他有価証券評価差額金	345	
投資その他の資産	32,655	30,847	自己株式	440	
投資有価証券	24,877	21,603	資本合計	109,516	
子会社株式	907	907	（資本の部）		
出資金	3	3	資本金		24,219
長期貸付金	93	1,266	資本剰余金		24,110
長期前払費用	1,946	1,730	利益剰余金		62,780
敷金・保証金	409	420	その他有価証券評価差額金		301
繰延税金資産	3,508	3,587	自己株式		3,000
その他の貸倒引当金	954	1,433	資本合計		108,411
	45	105	負債・資本合計	152,524	148,915
資産合計	152,524	148,915			

（注）

	前期	当期		前期	当期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	21,753百万円	22,962百万円	4. 保証債務	588百万円	551百万円
2. 子会社に対する短期金銭債権	195百万円	45百万円	5. 受取手形割引高	1,200百万円	600百万円
3. 子会社に対する短期金銭債務	492百万円	513百万円	6. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。		

損益計算書（単体）

（単位：百万円）

科目	期別	
	前期 (平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)	当期 (平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)
売上高	56,315	56,240
売上原価	16,632	17,519
返品調整引当金戻入額	33	18
返品調整引当金繰入額	18	22
売上総利益	39,697	38,718
販売費及び一般管理費	32,789	32,652
営業利益	6,907	6,065
営業外収益	578	609
受取利息	39	20
有価証券利息	171	212
受取配当金	135	130
その他の営業外収益	232	246
営業外費用	1,032	937
支払利息	24	22
社債利息	166	165
有価証券評価損	362	266
その他の営業外費用	478	483
経常利益	6,454	5,737
特別利益	3,382	413
投資有価証券売却益		413
訴訟和解金	3,382	
特別損失	1,198	1,622
固定資産処分損	78	114
投資有価証券評価損	1,120	1,508
税引前当期純利益	8,638	4,528
法人税、住民税及び事業税	5,230	1,420
法人税等調整額	1,394	785
当期純利益	4,803	2,322
前期繰越利益	716	2,008
中間配当金	397	391
自己株式消却額	881	
当期末処分利益	4,240	3,939

（注）

	前期	当期
1. 子会社に対する売上高	0百万円	0百万円
2. 子会社からの仕入高	3,650百万円	3,769百万円
3. 子会社との営業取引以外の取引高	1,224百万円	1,148百万円
4. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。		

利益処分

（単位：円）

科目	金額
当期末処分利益	3,939,935,854
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金 (1株につき7円)	384,306,300
役員賞与金 (取締役賞与金) (監査役賞与金)	27,310,000 (24,120,000) (3,190,000)
別途積立金	1,500,000,000
次期繰越利益	2,028,319,554

（注）1. 平成14年12月10日に391,057,688円（1株につき7円）の中間配当を実施いたしました。
2. 利益配当金は自己株式1,894,285株に対する金額を除いております。

製品の紹介

主な医療用医薬品

神経系用薬

カバサル錠 パーキンソン病治療剤
カピستن 解熱・鎮痛・抗炎症剤

感覚器官用薬

リザベン点眼液 アレルギー性結膜炎治療剤
リズモンTG点眼液 緑内障・高眼圧症治療剤

循環器官用薬

ベザトールSR錠 高脂血症治療剤
キサンボン注 脳循環改善剤

消化器官用薬

ガスコン 消化管内ガス駆除剤
アラント 胃・十二指腸潰瘍治療剤

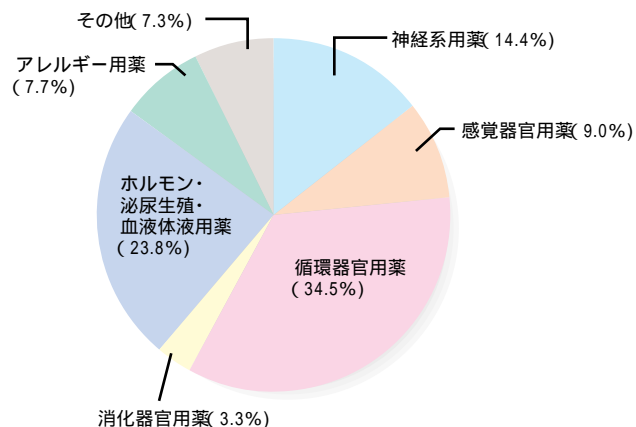
ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬

ウテメリン 切迫流・早産治療剤
フラグミン静注 血液凝固阻止剤
エストラダームM 女性ホルモン剤

アレルギー用薬

リザベン アレルギー性疾患治療剤
ドメナン錠 気管支喘息治療剤

売上高比率 (平成14年4月1日～平成15年3月31日)



新発売したヘルスケア製品

当社では、高齢者や要介護者の方々、食事療法や食事制限が必要とされる患者さん向けに特徴ある食品の開発、販売を行っております。

平成14年10月に新発売しました製品をご紹介します。



「ウェットケア」は生体保湿成分のヒアルロン酸と虫歯予防効果が知られているキシリトールの他、酸味料を配合し、のどの渇きを感じたときに口の中にスプレーすることによって、潤い感を持たせます。

水分制限が必要な方が、水を飲むのを我慢できるように工夫したスプレータイプの清涼飲料水です。



研究開発の状況

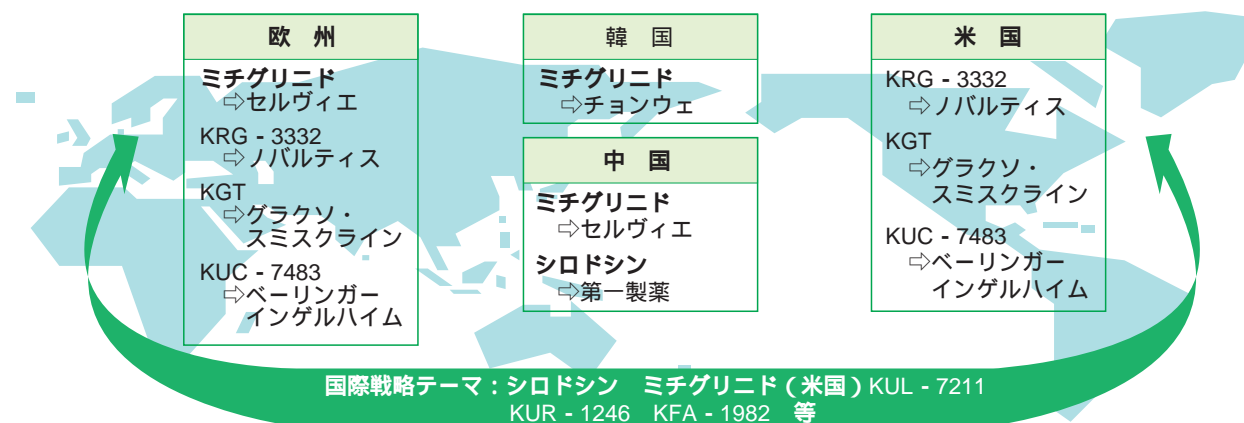
技術革新と国際化の激しい進展により、研究開発テーマの評価基準と承認審査のハードルは高くなっています。このような状況下において、当社は経営ビジョン「創薬研究開発型企業」を実現するために、創薬研究の基盤強化、最優先テーマの早期承認取得及びR&Dパイプラインの充実強化を推進しております。

主な新薬開発状況 (平成15年5月現在)

開発番号 (一般名)	オリジン	予想される適応症	開発エリア	開発段階	開発実施企業
KAD - 1229 (ミチグリニド)	創製品	2型糖尿病における食後血糖推移の改善	日本	承認申請中	キッセイ
		- グルコシダーゼ阻害剤との併用療法 (効能追加)	米国	第II相	キッセイ
KMD - 3213 (シロドシン)	創製品	前立腺肥大に伴う排尿障害	欧州	第III相	セルヴィエ
			日本	第II/III相	キッセイ
KUR - 1246	創製品	切迫早産	日本	第III相	キッセイ/第一製薬
			米国	第II相	キッセイ
KSS - 694 (ピロカルピン)	E.M.ジ.アイ.ファーム (米国)	頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善 シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善 (効能追加)	日本	承認申請中	キッセイ
			欧州	第II相	キッセイ
KIN - 493 (オクスカルバゼピン)	ノバルティスファーマ (スイス)	糖尿病性神経障害に伴う疼痛	日本	第II相	キッセイ

海外展開は当社成長のためには必須であります。海外展開にあたってはライセンスアウトによる戦略をとっており、将来における収益基盤の核となる海外売上規模を拡大するために、ライセンスアウトによる国際展開の更なる推進を図ります。当期は、グラクソ・スミスクライン社に糖尿病治療剤「KGT」、ペーリンガーインゲルハイム社に頻尿・尿失禁治療剤「KUC - 7483」をライセンスアウトいたしました。

ライセンスアウトの状況 (平成15年5月現在)

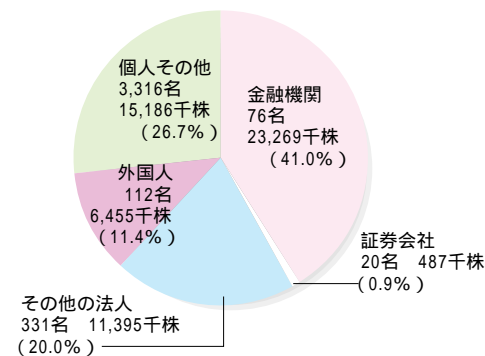


株式の状況

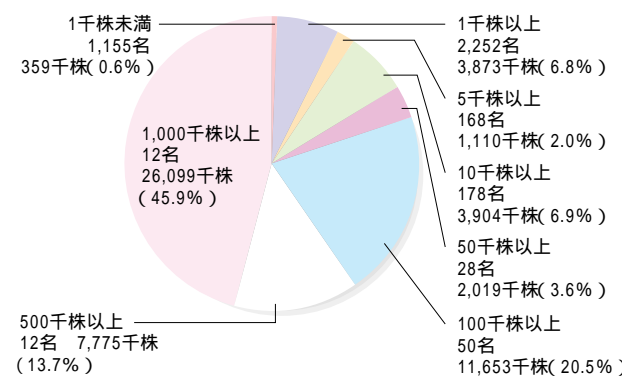
会社が発行する株式の総数 128,516,000株
 発行済株式の総数 56,795,185株
 株主数 3,855名 (前期末比増減 201名減)
 平均所有株数 14,732株 (前期末比増減 730株増)

(平成15年3月31日現在)

所有者別分布



所有株数別分布



大株主

株主名	持株数	議決権比率
神澤邦雄	3,695千株	6.9%
有限会社カンザワ	3,178	5.9
株式会社みずほ銀行	2,772	5.1
株式会社八十二銀行	2,754	5.1
第一生命保険相互会社	2,687	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	2,504	4.6
日本トラスティサービス信託銀行株式会社信託口	1,590	2.9
UFJ信託銀行株式会社信託勘定A口	1,506	2.8
鍋林株式会社	1,356	2.5
株式会社長野銀行	1,126	2.1

(注) 当社は自己株式1,894,285株を保有しております。

株価チャート



会社の概要

キッセイ薬品工業株式会社
 KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.
 昭和21年8月9日
 24,219,657,478円
 医療用医薬品の製造販売
 本社
 長野県松本市芳野19番48号
 電話(0263)25-9081 〒399-8710
 東京本社
 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号
 電話(03)3279-2761 〒103-0022
 東京本社(小石川)
 東京都文京区小石川三丁目1番3号
 支店
 札幌支店、仙台支店、関越支店(さいたま市)、
 東京支店、横浜支店、松本支店、
 名古屋支店、京都支店、大阪支店、
 高松支店、広島支店、福岡支店
 (注)支店の下に23営業所を設置しております。
 工場
 松本工場、塩尻工場(物流センター含む)
 研究所
 中央研究所・安全性研究所・製剤研究所
 (長野県穂高町)
 ヘルスケア事業センター(塩尻市)
 従業員数 1,444名(平均年齢35.9歳)

(平成15年3月31日現在)

代表取締役会長 神澤邦雄
 代表取締役社長 神澤陸雄
 取締役副社長 岩垂正矩
 専務取締役 齋藤浩
 常務取締役 日吉幸義
 取締役 須澤嗣夫
 取締役 倉科喜一
 取締役 薄田利秋
 取締役 竹内正幸
 取締役 柳澤圭一郎
 取締役 降旗征一郎
 取締役 飯塚欣二
 取締役 熊澤潔
 取締役 矢花哲夫
 取締役 足立寿喜夫
 常勤監査役 赤山増喜
 常勤監査役 戸村喜夫
 常勤監査役 北澤秀長
 監査役 久保田嘉信

HPのご案内

当社ではタイムリーな情報をウェブサイト上で提供しています。
 どうぞご覧下さい。

URL : <http://www.kissei.co.jp/>

トップページ



キッセイ健康劇場

